

関東農政局管内の野菜の概要

令和8年9月

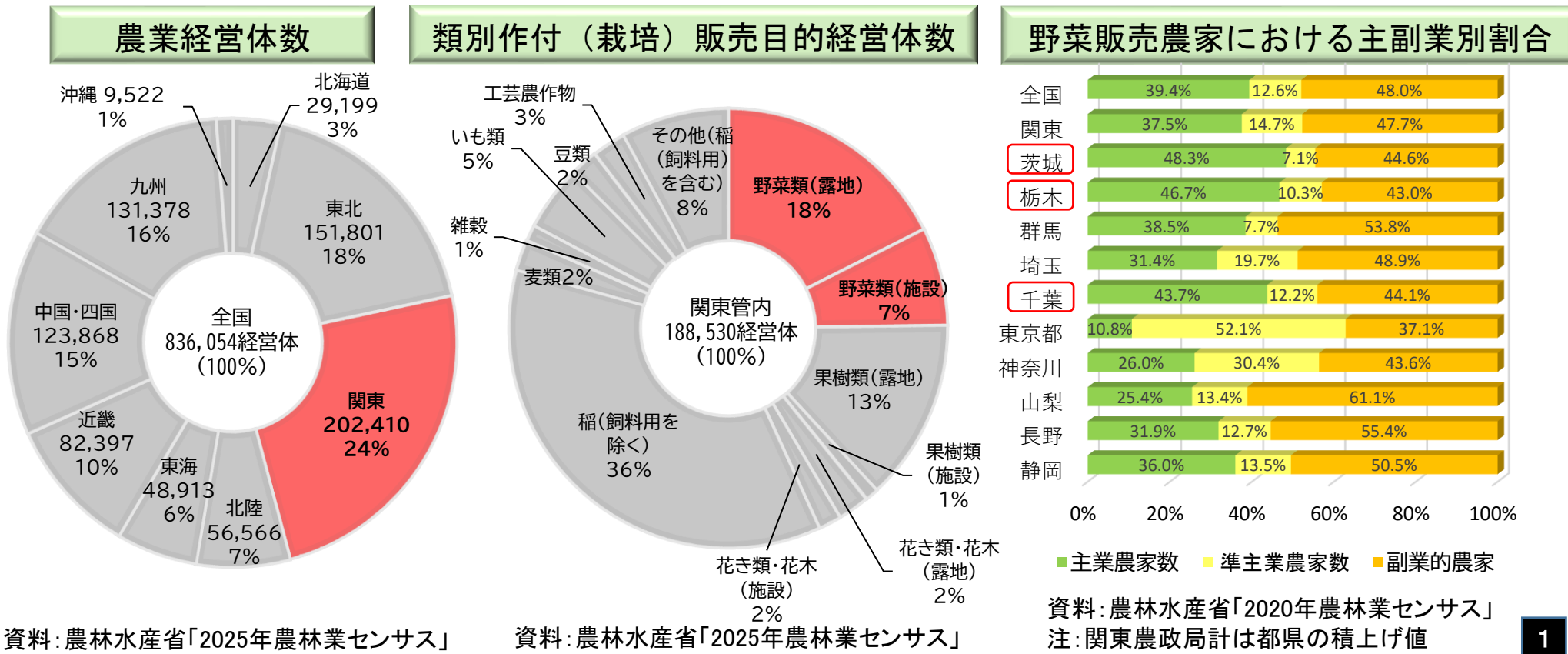
関東農政局生産部園芸特産課

目次

● 農業経営体の状況	1
● 農業産出額	2
● 管内の野菜指定産地	3
● 野菜指定産地主要品目の農業産出額及び季節別収穫状況	
① 葉菜類(キャベツ・ほうれんそう・レタス・はくさい・ねぎ)	4
② 果菜類(きゅうり・ピーマン)	9
③ 根菜類(だいこん・にんじん)	11
● 果実的野菜の農業産出額及び県別収穫量	13
● 園芸用施設面積	15
● 次世代施設園芸	16

● 農業経営体の状況

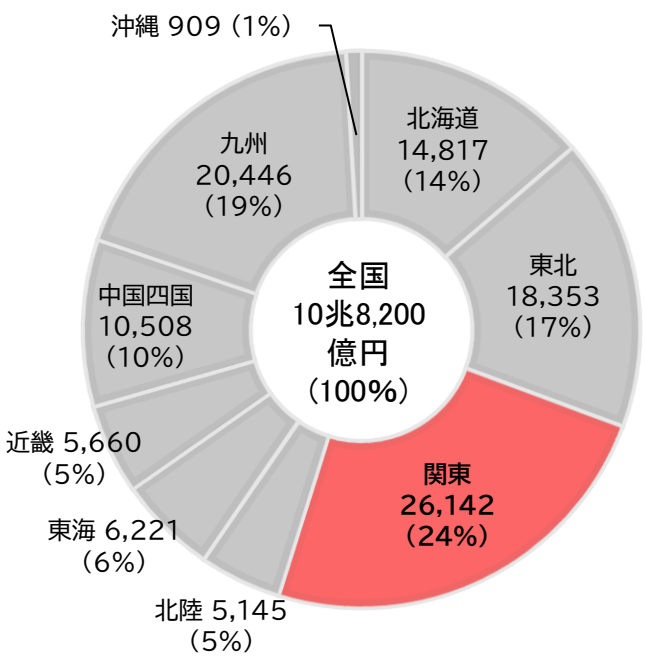
- 関東農政局管内(以下「管内」という。)の農業経営体数(令和7年)は、202,410経営体となっており、全国の24%を占めている。
- 販売を目的とした類別作付(栽培)販売目的経営体数でみると、管内では野菜経営体が全体の25%を占めており、稲(米)に次いで高い割合となっている。
- 野菜販売農家の主副業別割合(令和2年)をみると、管内平均は全国水準とほぼ同程度であるが、茨城県、栃木県、千葉県は主業農家数の割合が4割を超えており、農業所得を主とした自営農業に従事している農家が多い。



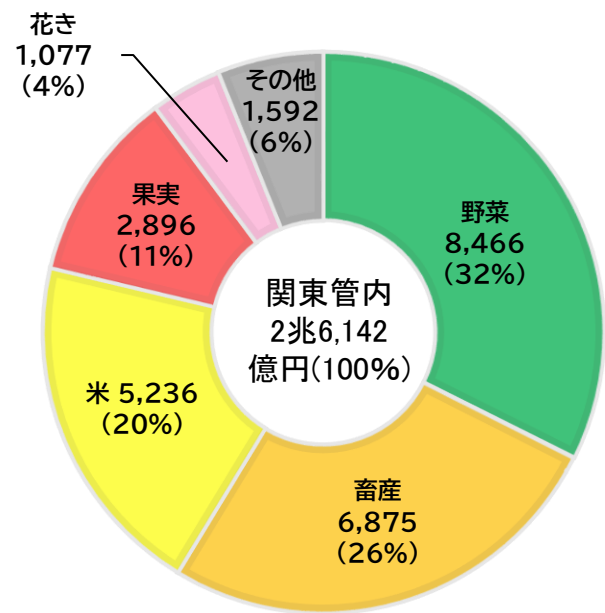
● 農業産出額

- 管内の農業産出額（令和6年）は2兆6,142億円で、全国の24%を占めている。
- 部門別にみると、野菜が8,466億円（全体の32%）で最も多く、畜産（6,875億円）、米（5,236億円）を上回り1位となっている。
- 都県別では、茨城県が5,494億円（全国3位）で最も多く、次いで千葉県が4,533億円（同4位）、栃木県が3,448億円（同9位）となっており、全国上位に位置する県が多い。

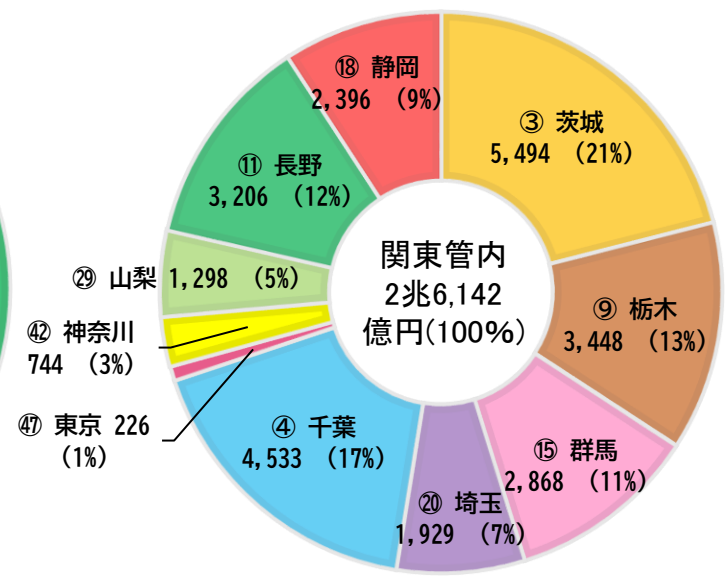
全国・農政局別



部門別（管内）



都県別（管内）



○数値は、都道府県順位

資料：農林水産省「生産農業所得統計(R6)」

注：1 全国及び管内の産出額は、都道府県値を積み上げたものである。
2 統計数値については、端数を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。
3 （ ）内は、構成比である（以下同じ。）。
4 構成比については、表示単位未満の数値で算出しているため、表示上の数値で算出した構成比が一致しない場合がある（以下同じ。）。

管内の野菜指定産地

- 管内の野菜指定産地数は、261産地（令和8年5月8日現在）となっており、全国（881産地）の30%を占めている。
- 都県別の野菜指定産地数は、群馬県が51産地で最も多く、次いで長野県が49産地、千葉県が43産地となっている。
- 指定野菜15品目のうち、農業産出額（令和6年）が全国順位1位となっている品目は、さといも（埼玉県）、だいこん（千葉県）、にんじん（千葉県）、ねぎ（埼玉県）、はくさい（茨城県）、ピーマン（茨城県）、レタス（長野県）及びほうれんそう（群馬県）で、計8品目である。

都県別野菜指定産地

都道府県	産地数	作付面積(ha)	収穫量(t)	出荷数量(t)
全 国	881	153,650	6,253,310	5,757,170
関 東	261	39,743	1,734,692	1,607,848
茨城	29	5,929	274,731	256,194
栃木	29	1,142	53,405	49,554
群馬	51	8,754	439,720	401,590
埼玉	23	2,266	75,592	65,811
千葉	43	6,973	277,867	260,960
神奈川	10	1,919	112,448	104,096
山梨	7	202	9,440	8,564
長野	49	10,429	426,164	399,808
静岡	20	2,129	65,325	61,271

※ 指定野菜とは、野菜生産出荷安定法に基づき政令で定められた、キャベツ、きゅうり、さといも、だいこん、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、ブロッコリー、レタス、たまねぎ、ばれいしょ、ほうれんそうの15品目をいう。

※ 野菜指定産地とは、野菜生産出荷安定法に基づき、指定野菜の集団産地として育成していく必要があると認められる産地を農林水産大臣が都道府県知事の申出を受けて指定したもの。

※ 資料：関東農政局調べ

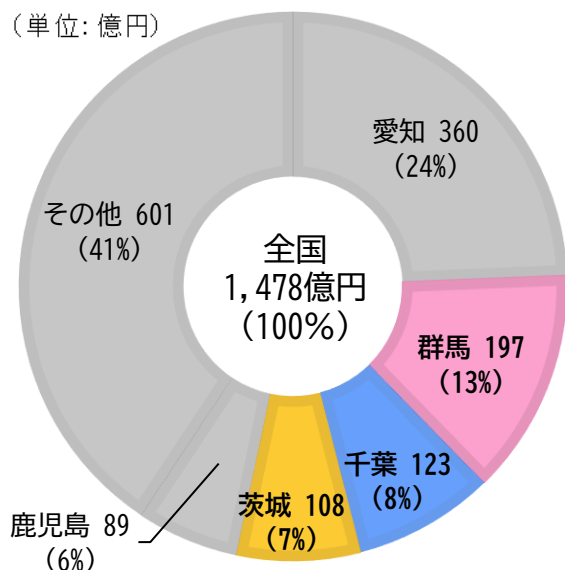
野菜指定産地主要品目の農業産出額及び季節別収穫状況(葉菜類)

キャベツ

- 品目別農業産出額(令和6年)では、群馬県が197億円で全国2位、千葉県が123億円で全国3位となっており、管内全体では全国の41%を占めている。
- 春キャベツ(4～6月)は、千葉県や神奈川県温暖地帯、夏秋キャベツ(7～10月)は群馬県や長野県の高冷地、冬キャベツ(11月～翌3月)は再び温暖地帯である千葉県や神奈川県での収穫が盛んである。これら管内産地によるリレー出荷により、周年出荷体制が整えられている。
- 管内産の収穫量(令和6年産)を市町村別にみると、春キャベツは千葉県銚子市が32,800tで、夏秋キャベツは群馬県嬬恋村が228,100tで、冬キャベツは千葉県銚子市が37,400tで、それぞれ管内1位となっており、首都圏の需要を支える重要な産地となっている。

品目別農業産出額

(単位: 億円)



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R6)」

令和6年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

春キャベツ

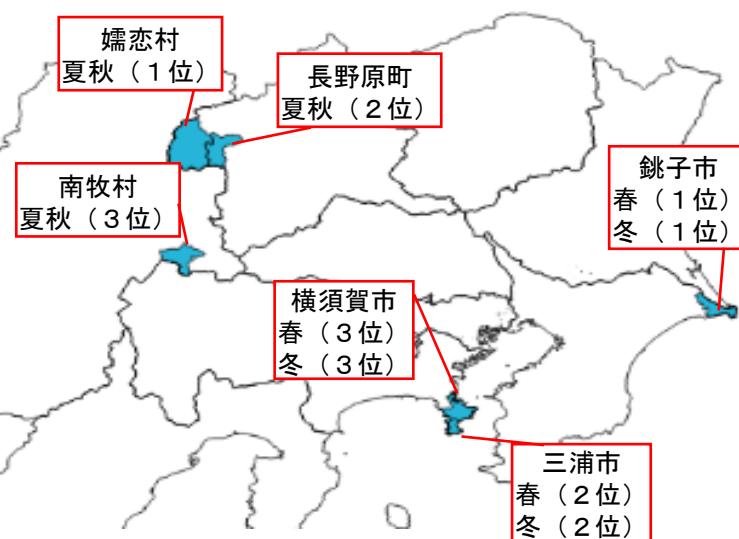
順位	春 (当年4月～当年6月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	千葉県	銚子市	32,800
2	神奈川県	三浦市	27,800
3	神奈川県	横須賀市	5,970

夏秋キャベツ

順位	夏秋 (当年7月～当年10月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	群馬県	嬬恋村	228,100
2	群馬県	長野原町	13,300
3	長野県	南牧村	12,600

冬キャベツ

順位	冬 (当年11月～翌年3月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	千葉県	銚子市	37,400
2	神奈川県	三浦市	7,970
3	神奈川県	横須賀市	7,960



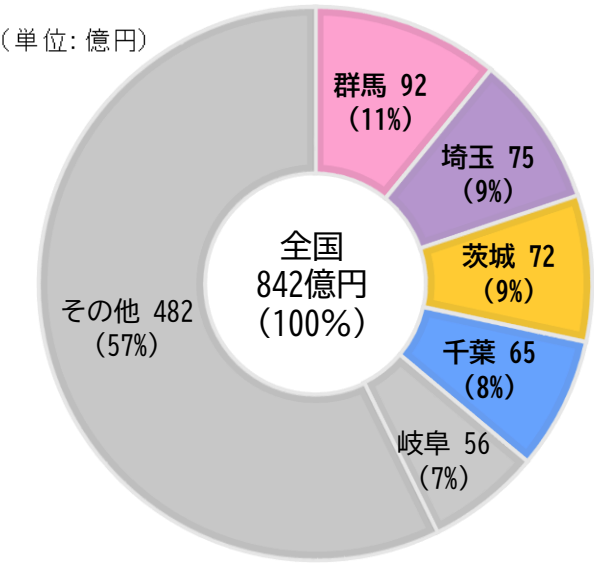
資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R6)」

● 野菜指定産地主要品目の農業産出額及び季節別収穫状況(葉菜類)

ほうれんそう

- 品目別農業産出額(令和6年)では、群馬県が92億円で全国1位、埼玉県が75億円で全国2位となっており、管内全体では全国の48%を占めている。
- 雨風で葉が痛みやすい品目であるが、雨除けハウスの活用により安定した出荷が可能となっている。
- 管内産の収穫量(令和6年産)を市町村別にみると、群馬県昭和村が7,430tで、管内1位となっており、首都圏の需要を支える重要な産地となっている。

品目別農業産出額



令和6年産収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

ほうれんそう

順位	都県	市町村	収穫量 (t)
1	群馬県	昭和村	7,430
2	群馬県	太田市	6,230
3	群馬県	伊勢崎市	2,340

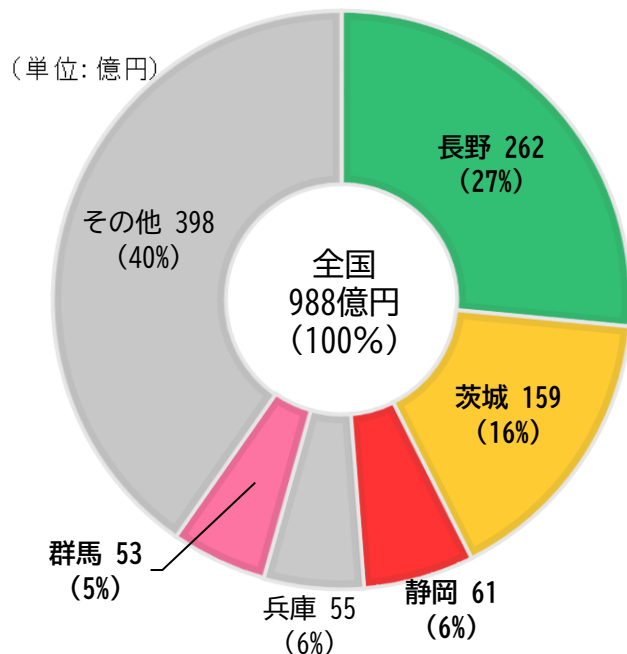


● 野菜指定産地主要品目の農業産出額及び季節別収穫状況(葉菜類)

レタス

- 品目別農業産出額(令和6年)では、長野県が262億円で全国1位、茨城県が159億円で全国2位となっており、管内全体では全国の60%を占めている。
- 春レタス(4～5月)、冬レタス(11月～翌3月)は比較的温暖な茨城県、夏秋レタス(6～11月)は長野県や群馬県の高冷地での生産が盛んである。これら管内産地のリレー出荷により周年出荷体制が整えられている。
- 管内産の収穫量(令和6年産)を市町村別にみると、春レタスは茨城県坂東市が8,740t、夏秋レタスは長野県川上村が85,600t、冬レタスは茨城県坂東市が13,500tで、それぞれ管内第1位となっており、首都圏の需要を支える重要な産地となっている。

品目別農業産出額



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R6)」

令和6年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

春レタス

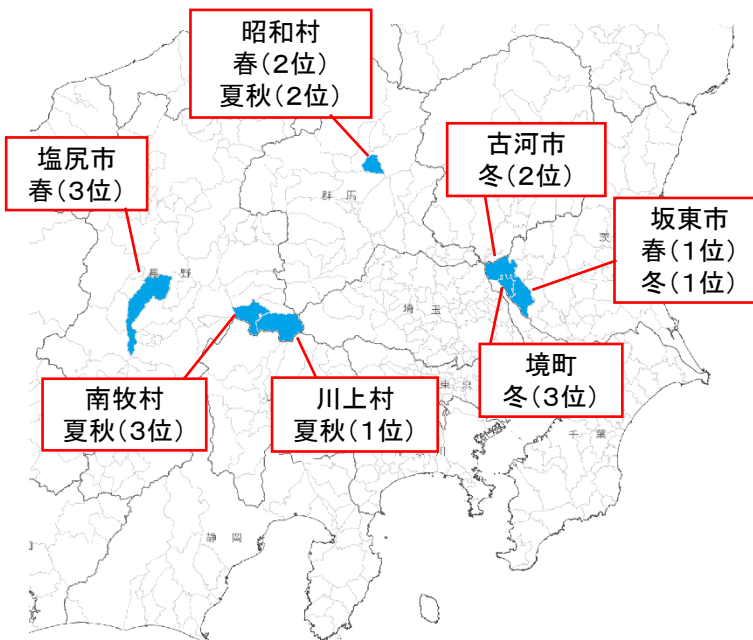
順位	春 (当年4月～当年5月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	坂東市	8,740
2	群馬県	昭和村	8,320
3	長野県	塩尻市	5,490

夏秋レタス

順位	夏秋 (当年6月～当年10月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	長野県	川上村	85,600
2	群馬県	昭和村	29,300
3	長野県	南牧村	23,300

冬レタス

順位	冬 (当年11月～翌年3月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	坂東市	13,500
2	茨城県	古河市	6,190
3	茨城県	境町	4,660



資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R6)」

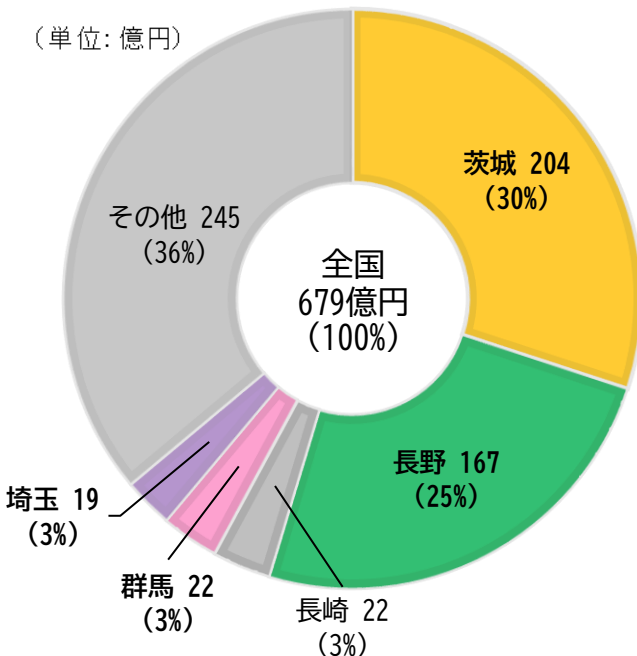
● 野菜指定産地主要品目の農業産出額及び季節別収穫状況(葉菜類)

はくさい

- 品目別農業産出額(令和6年)では、茨城県が204億円で全国1位、長野県が167億円で全国2位となっており、管内全体では全国の66%を占めている。
- 春はくさい(4月～6月)は比較的温暖な茨城県、夏はくさい(7月～9月)は長野県の高冷地、秋冬はくさい(10月～翌3月)は再び茨城県を中心に生産が盛んである。これら管内産地によるリレー出荷により、周年出荷体制が整えられている。
- 管内産の収穫量(令和6年産)を市町村別にみると、春はくさいは茨城県八千代町が14,000t、夏はくさいは長野県南牧村が45,800t、秋冬はくさいは茨城県八千代町が48,100tで、それぞれ管内1位となっており、首都圏の需要を支える重要な産地となっている。

品目別農業産出額

(単位: 億円)



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R6)」

令和6年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

春はくさい

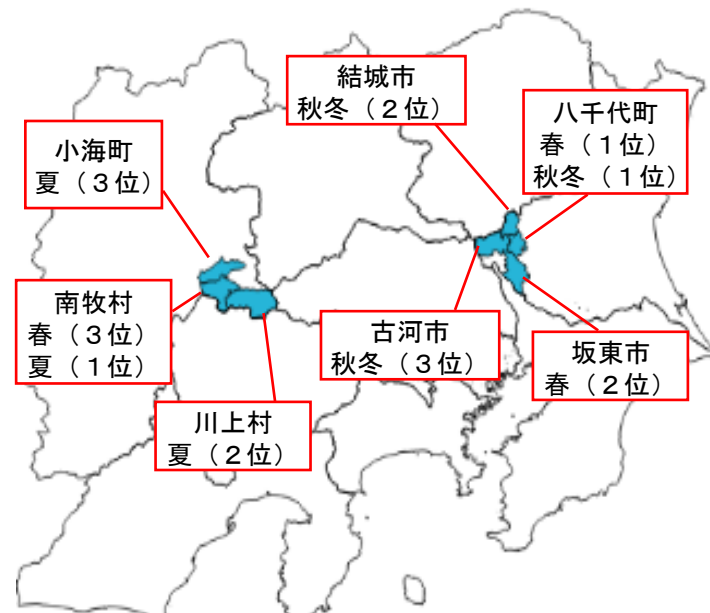
順位	春 (当年4月～当年6月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	八千代町	14,000
2	茨城県	坂東市	7,640
3	長野県	南牧村	6,290

夏はくさい

順位	夏 (当年7月～当年9月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	長野県	南牧村	45,800
2	長野県	川上村	41,300
3	長野県	小海町	19,600

秋冬はくさい

順位	秋冬 (当年10月～翌年3月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	八千代町	48,100
2	茨城県	結城市	33,100
3	茨城県	古河市	18,600



資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R6)」

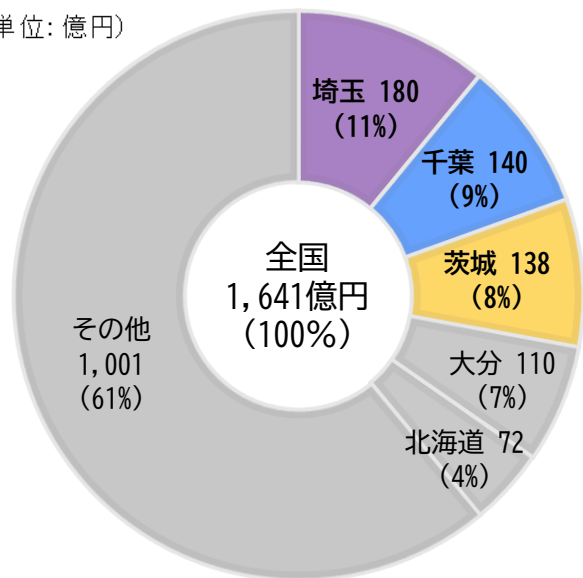
● 野菜指定産地主要品目の農業産出額及び季節別収穫状況(葉菜類)

ねぎ

- 品目別農業産出額(令和6年)では、埼玉県が180億円で全国1位、千葉県が140億円で全国2位となっており、管内全体では全国の41%を占めている。
- 春ねぎ(4月～6月)は茨城県・千葉県、夏ねぎ(7～9月)は茨城県・長野県、秋冬ねぎ(10月～翌3月)は埼玉県・茨城県を中心に生産されている。これら管内産地のリレー出荷により、周年出荷体制が整えられている。
- 管内産の収穫量(令和6年産)を市町村別にみると、春ねぎ及び夏ねぎは茨城県坂東市が8,040t及び5,060t、秋冬ねぎは玉県熊谷市が4,700tで、それぞれ管内1位となっており、首都圏の需要を支える重要な産地となっている。

品目別農業産出額

(単位: 億円)



令和6年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

春ねぎ

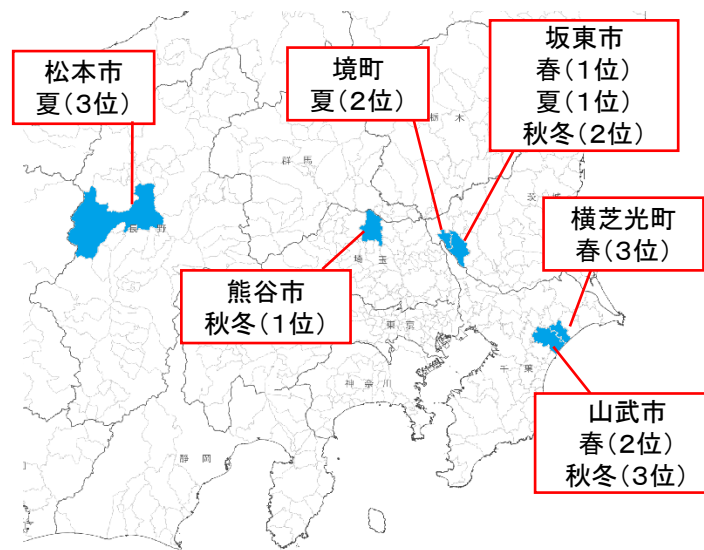
順位	春 (当年4月～当年6月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	坂東市	8,040
2	千葉県	山武市	1,430
3	千葉県	横芝光町	816

夏ねぎ

順位	夏 (当年7月～当年9月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	坂東市	5,060
2	茨城県	境町	1,550
3	長野県	松本市	1,180

秋冬ねぎ

順位	秋冬 (当年10月～翌年3月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	埼玉県	熊谷市	4,700
2	茨城県	坂東市	3,750
3	千葉県	山武市	3,590



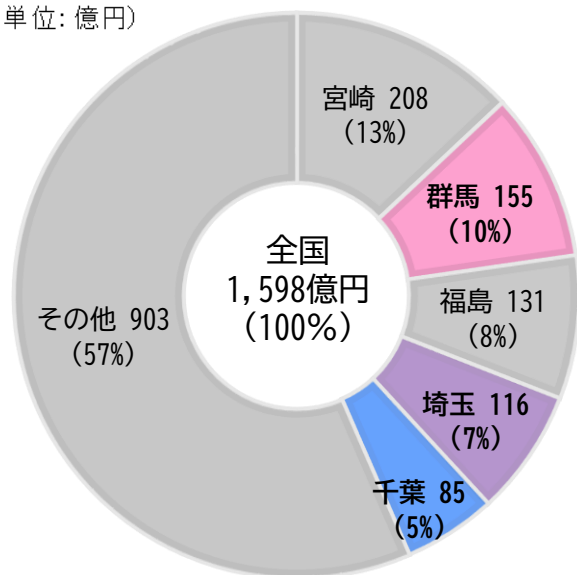
● 野菜指定産地主要品目の農業産出額及び季節別収穫状況(果菜類)

きゅうり

- 品目別農業産出額(令和6年)では、群馬県が155億円で全国2位、埼玉県が116億円で全国4位となっており、管内全体では全国の34%を占めている。
- 冬春きゅうり(12月～翌6月)は比較的温暖な千葉県や群馬県、埼玉県での生産が盛んである。また、施設栽培により、周年栽培が可能となっている。
- 管内産の収穫量(令和6年産)を市町村別にみると、夏秋きゅうりは埼玉県深谷市が4,590t、冬春きゅうりは千葉県旭市が10,800tで、それぞれ管内1位となっており、首都圏の需要を支える重要な産地となっている。

品目別農業産出額

(単位: 億円)



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R6)」

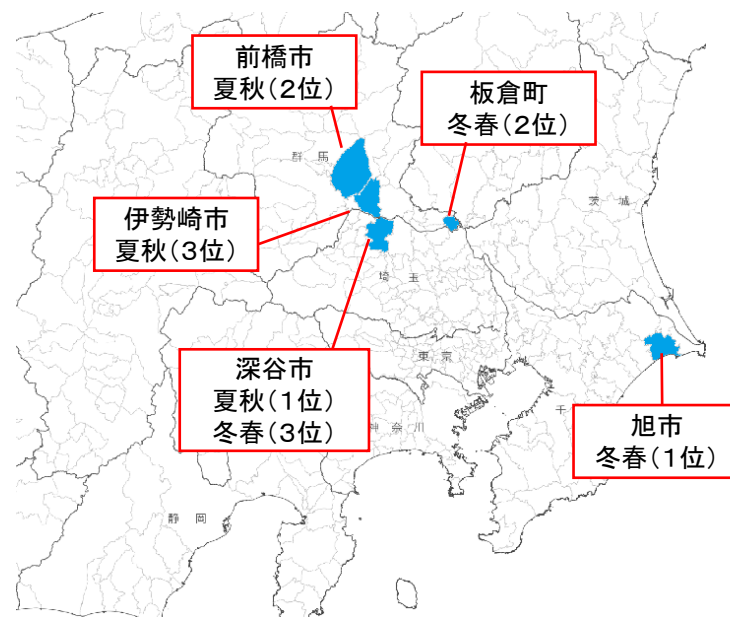
令和6年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

夏秋きゅうり

順位	夏秋(当年7月～当年11月)		
	都県	市町村	収穫量(t)
1	埼玉県	深谷市	4,590
2	群馬県	前橋市	3,940
3	群馬県	伊勢崎市	3,260

冬春きゅうり

順位	冬春(当年12月～翌年6月)		
	都県	市町村	収穫量(t)
1	千葉県	旭市	10,800
2	群馬県	板倉町	8,520
3	埼玉県	深谷市	8,500



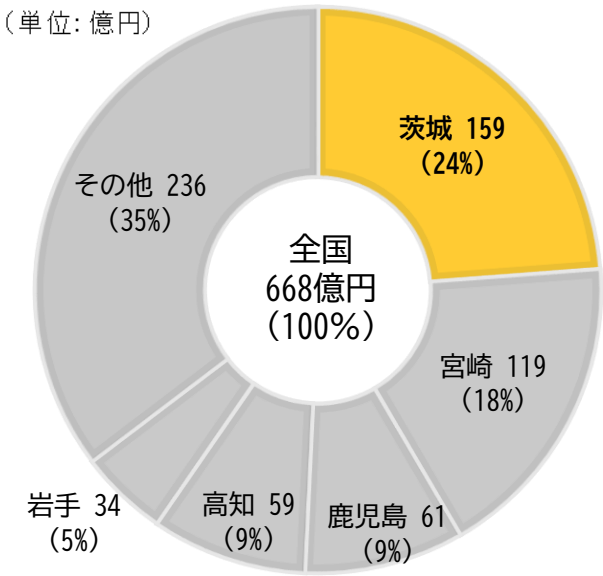
資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R6)」

● 野菜指定産地主要品目の農業産出額及び季節別収穫状況(果菜類)

ピーマン

- 品目別農業産出額(令和6年)では、茨城県が159億円で全国1位となっており、管内全体では全国の28%を占めている。
- 茨城県では温暖な気候と、水はけの良い土壌を活かした生産が盛んであり、施設栽培により周年供給が可能となっている。
- 管内産の収穫量(令和6年産)を市町村別にみると、茨城県神栖市が夏秋ピーマン、冬春ピーマンでそれぞれ8,300t、19,500tと管内1位となっており、首都圏の需要を支える重要な産地となっている。

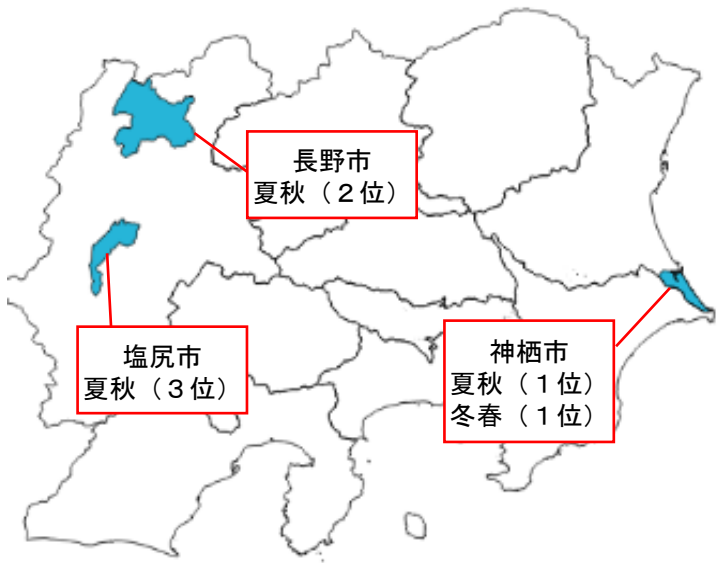
品目別農業産出額



令和6年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

夏秋ピーマン			
順位	夏秋 (当年6月～当年10月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	神栖市	8,300
2	長野県	長野市	275
3	長野県	塩尻市	235

冬春ピーマン			
順位	冬春 (当年11月～翌年5月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	茨城県	神栖市	19,500



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R6)」

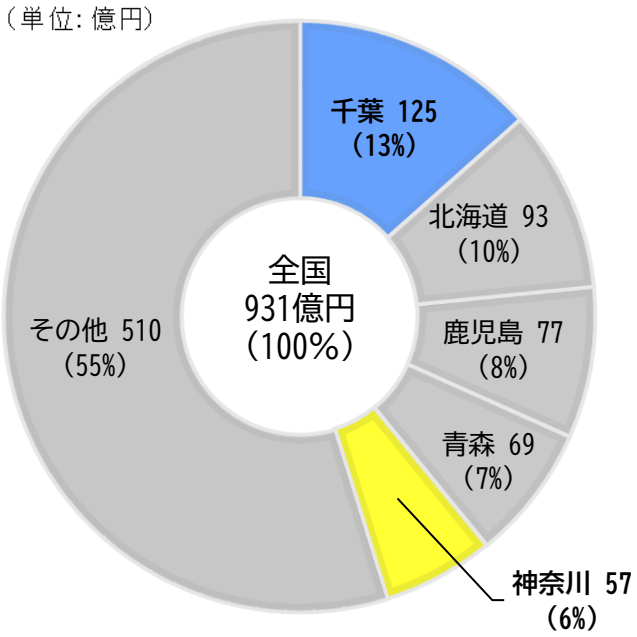
資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R6)」

● 野菜指定産地主要品目の農業産出額及び季節別収穫状況(根菜類)

だいこん

- 品目別農業産出額(令和6年)では、千葉県が125億円で全国1位となっており、管内全体で全国の33%を占めている。
- 千葉県や神奈川県では温暖な気候を活かした、春だいこんや冬だいこんの生産が盛んである。
- 管内産の収穫量(令和6年産)を市町村別にみると、春だいこんは千葉県銚子市が22,100t、夏だいこんは群馬県沼田市が4,930t、秋冬だいこんは神奈川県三浦市が52,800tで、それぞれ管内1位となっており、首都圏の需要を支える重要な産地となっている。

品目別農業産出額



令和6年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

春だいこん

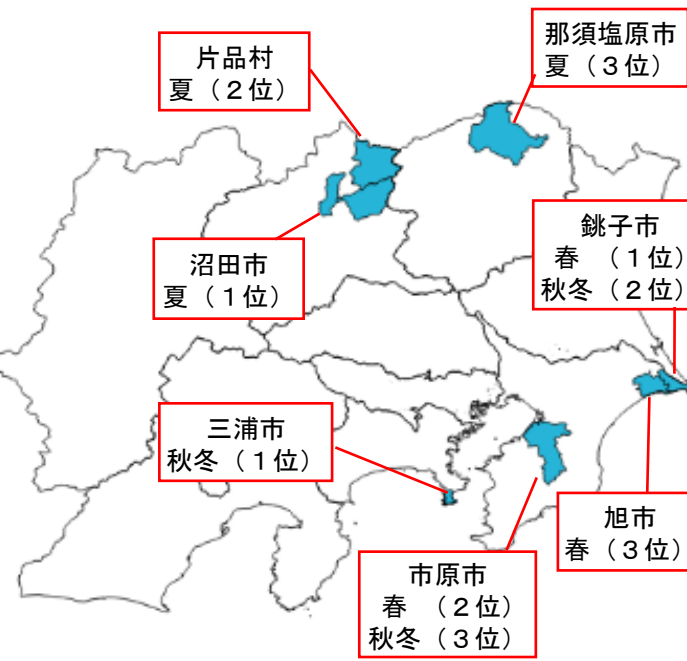
順位	春 (当年4月～当年6月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	千葉県	銚子市	22,100
2	千葉県	市原市	5,180
3	千葉県	旭市	3,860

夏だいこん

順位	夏 (当年7月～当年9月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	群馬県	沼田市	4,930
2	群馬県	片品村	3,880
3	栃木県	那須塩原市	495

秋冬だいこん

順位	秋冬 (当年10月～翌年3月)		
	都県	市町村	収穫量 (t)
1	神奈川県	三浦市	52,800
2	千葉県	銚子市	38,100
3	千葉県	市原市	6,920



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R6)」

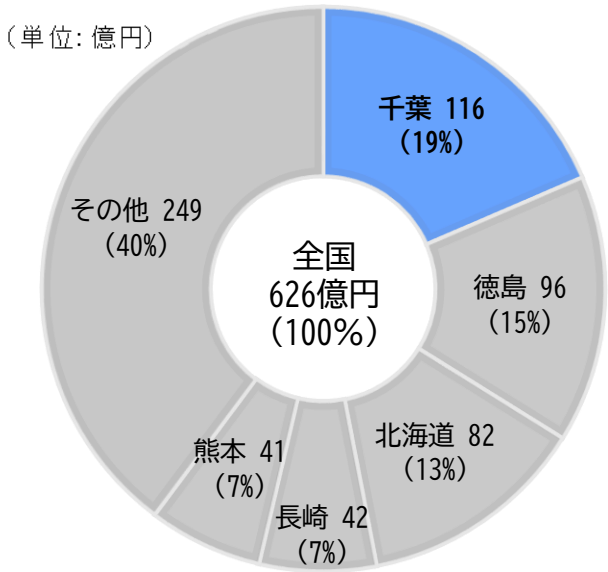
資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R6)」

● 野菜指定産地主要品目の農業産出額及び季節別収穫状況(根菜類)

にんじん

- 品目別農業産出額(令和6年)では、千葉県が116億円で全国1位となっており、管内全体では全国の30%を占めている。
- 千葉県では温暖な気候を生かし、冬にんじんの生産が盛んである。
- 管内産の収穫量(令和6年産)を市町村別にみると、春夏にんじんは千葉県船橋市が1,640tで、冬にんじんは千葉県富里市が18,600tで、それぞれ管内1位となっており、首都圏の需要を支える重要な産地となっている。

品目別農業産出額



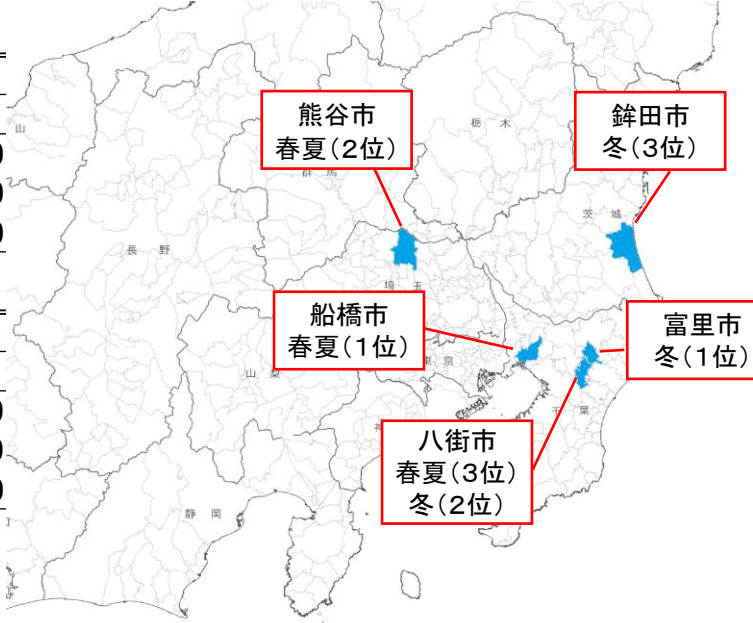
令和6年産季節区分別収穫量(指定産地・管内上位3市町村)

春夏にんじん

順位	春夏 (当年4月～当年7月)		
	都県	市町村	収穫量(t)
1	千葉県	船橋市	1,640
2	埼玉県	熊谷市	1,600
3	千葉県	八街市	1,480

冬にんじん

順位	冬 (当年11月～翌年3月)		
	都県	市町村	収穫量(t)
1	千葉県	富里市	18,600
2	千葉県	八街市	15,200
3	茨城県	鉾田市	8,310



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R6)」

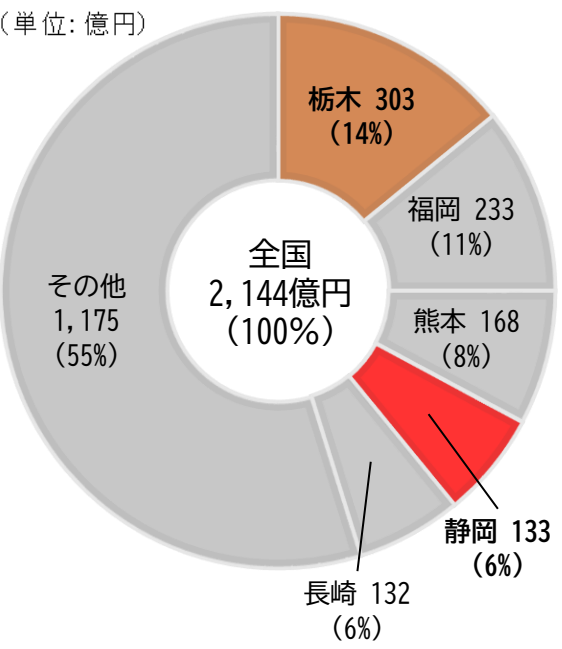
資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R6)」

● 果実的野菜類の農業産出額及び県別収穫量

いちご

- 品目別農業産出額(令和6年)では、栃木県が303億円で全国1位となっており、管内全体では全国の36%を占めている。
- 管内産の収穫量(令和6年産)を県別にみると、全国上位10県以内に管内の4県が入っており、栃木県が25,700t(全国1位)で最も多く、次いで静岡県が10,100t(同5位)、茨城県が9,970t(同6位)、千葉県が6,590t(同8位)の順となっている。

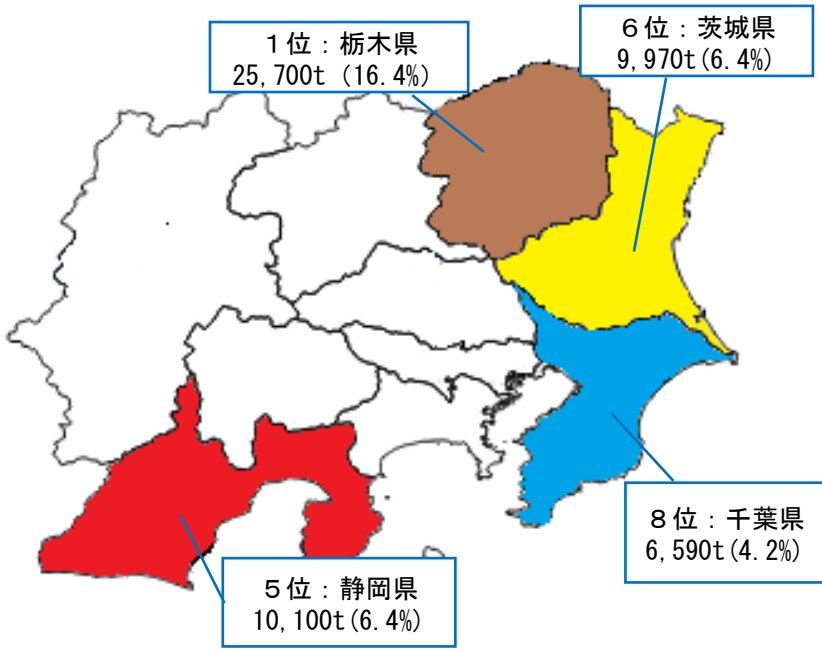
品目別農業産出額



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R6)」

令和6年産県別収穫量と全国シェア(全国上位10県まで)

全国順位	都道府県	収穫量	全国シェア
位		t	%
1	栃木	25,700	16.4
2	福岡	14,400	9.2
3	熊本	11,100	7.1
4	愛知	10,500	6.7
5	静岡	10,100	6.4
6	茨城	9,970	6.4
7	長崎	9,600	6.1
8	千葉	6,590	4.2
9	佐賀	5,790	3.7
10	宮城	5,160	3.3
—	全 国	156,600	100



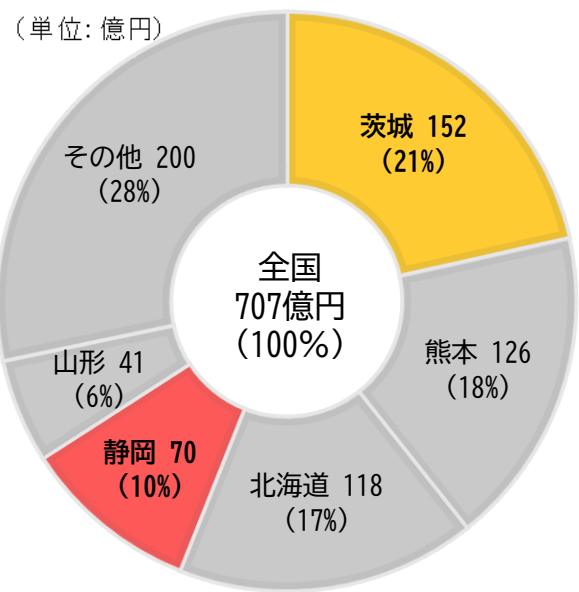
資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R6)」

● 果実的野菜類の農業産出額及び県別収穫量

メロン

- 品目別農業産出額(令和6年)では、茨城県が152億円で全国1位となっており、管内全体では全国36%を占めている。
- 管内産の収穫量(令和6年産)を県別にみると、全国上位10県以内に管内の3県が入っており、茨城県が36,900t(全国1位)で最も多く、次いで千葉県が8,130t(同6位)、静岡県が5,320t(同8位)の順となっている。

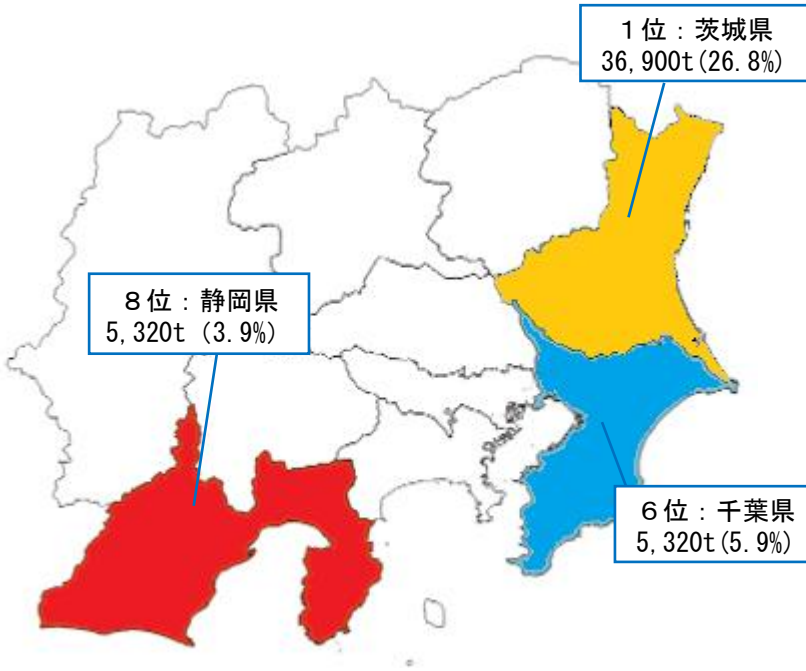
品目別農業産出額



資料: 農林水産省「生産農業所得統計(R6)」

令和6年産県別収穫量と全国シェア(全国上位10県まで)

全国順位	都道府県	収穫量	全国シェア
位		t	%
1	茨城	36,900	26.8
2	熊本	20,900	15.2
3	北海道	19,100	13.9
4	山形	9,020	6.6
5	愛知	8,550	6.2
6	千葉	8,130	5.9
7	青森	6,820	5.0
8	静岡	5,320	3.9
9	秋田	3,210	2.3
10	鳥取	1,070	0.8
—	全 国	137,500	100

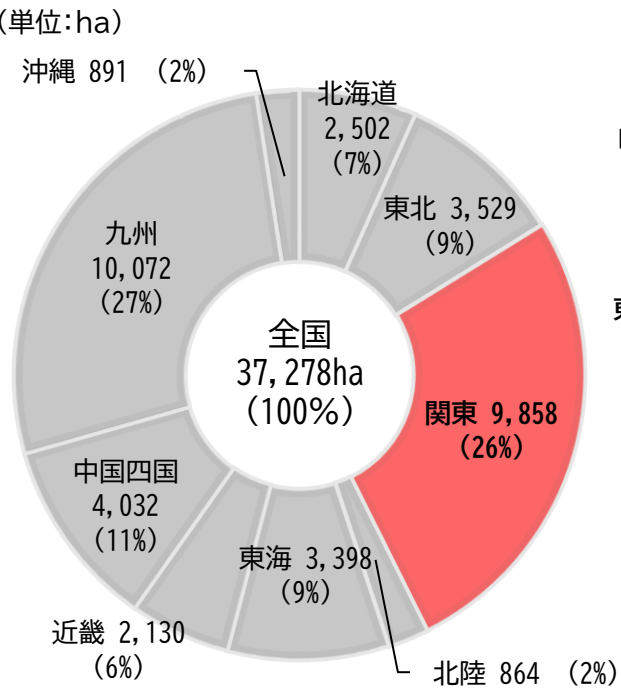


資料: 農林水産省「野菜生産出荷統計(R6)」

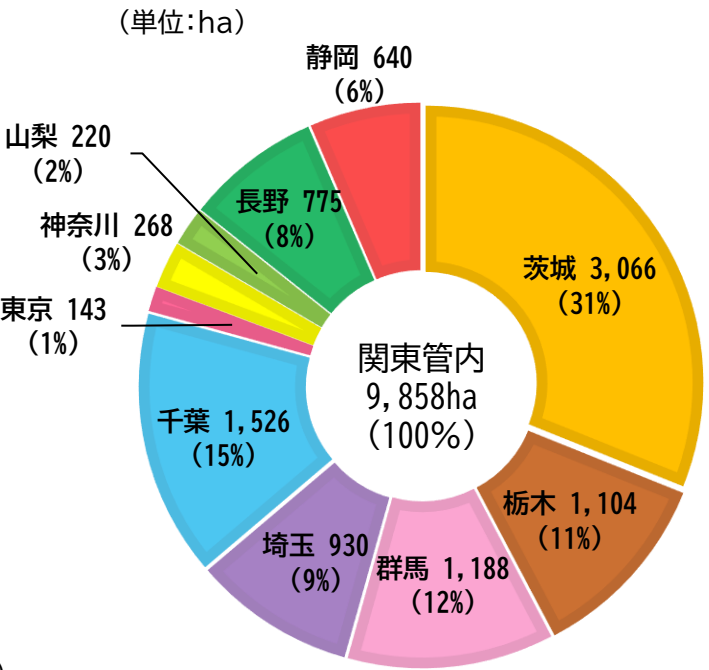
● 園芸用施設面積

- 管内の園芸用施設面積は9,858haで、九州に次いで施設栽培が盛んに行われている。
- 管内の園芸用施設の8割が野菜の栽培に利用されており、都県別でみると野菜の主産地である茨城県が3,066ha、千葉県が1,526haで、両県で管内の46%を占めている。
- 管内では果菜類や果実的野菜類等の多様な品目において施設が活用されており、施設栽培により周年かつ計画的生産が行われ、安定的な供給に寄与している。

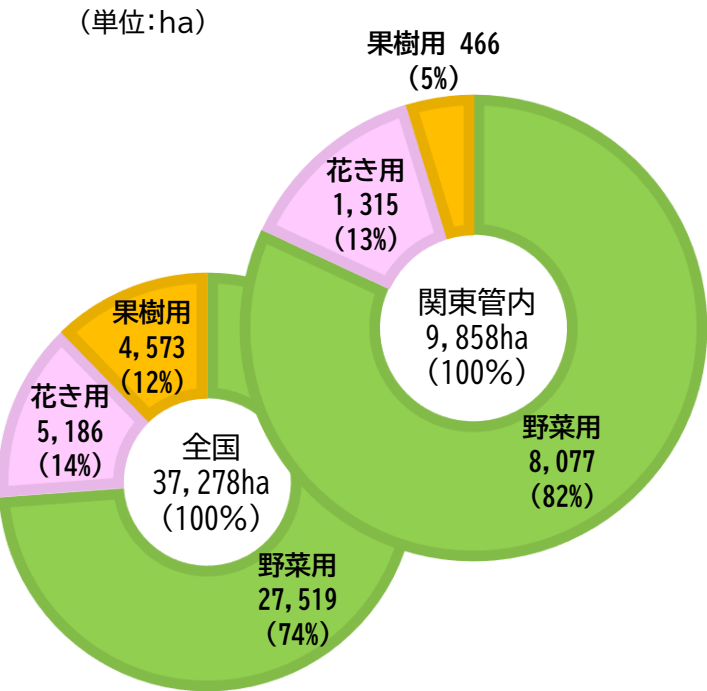
園芸用施設設置面積(全国)



園芸用施設設置面積(関東)



園芸用施設面積に占める
主要部門の利用割合



資料:農林水産省「ガラス室・ハウス設置状況(栽培用)」
(令和5年11月1日～令和6年10月31日間の栽培に使用したもの)

● 次世代施設園芸

- 気候に左右されず、野菜等の安定供給を確保するためには、ICTを活用した高度な環境制御を行い、周年・計画生産を行う次世代施設園芸の推進が重要である。
- 南北に長い日本の自然条件等に適した次世代施設園芸を確立するため、全国10カ所にモデル拠点を整備し、管内では埼玉県と静岡県との2カ所に次世代施設園芸拠点が整備されている。

埼玉県拠点(久喜市)【2017年1月完成】

栽培面積: 3.3ha

品目: トマト



目標: 30t/10a

地域エネルギー: 木質バイオマス



静岡県拠点(小山町)【2016年1月完成】

栽培面積: 4.0ha

品目: 高糖度トマト・高糖度ミニトマト



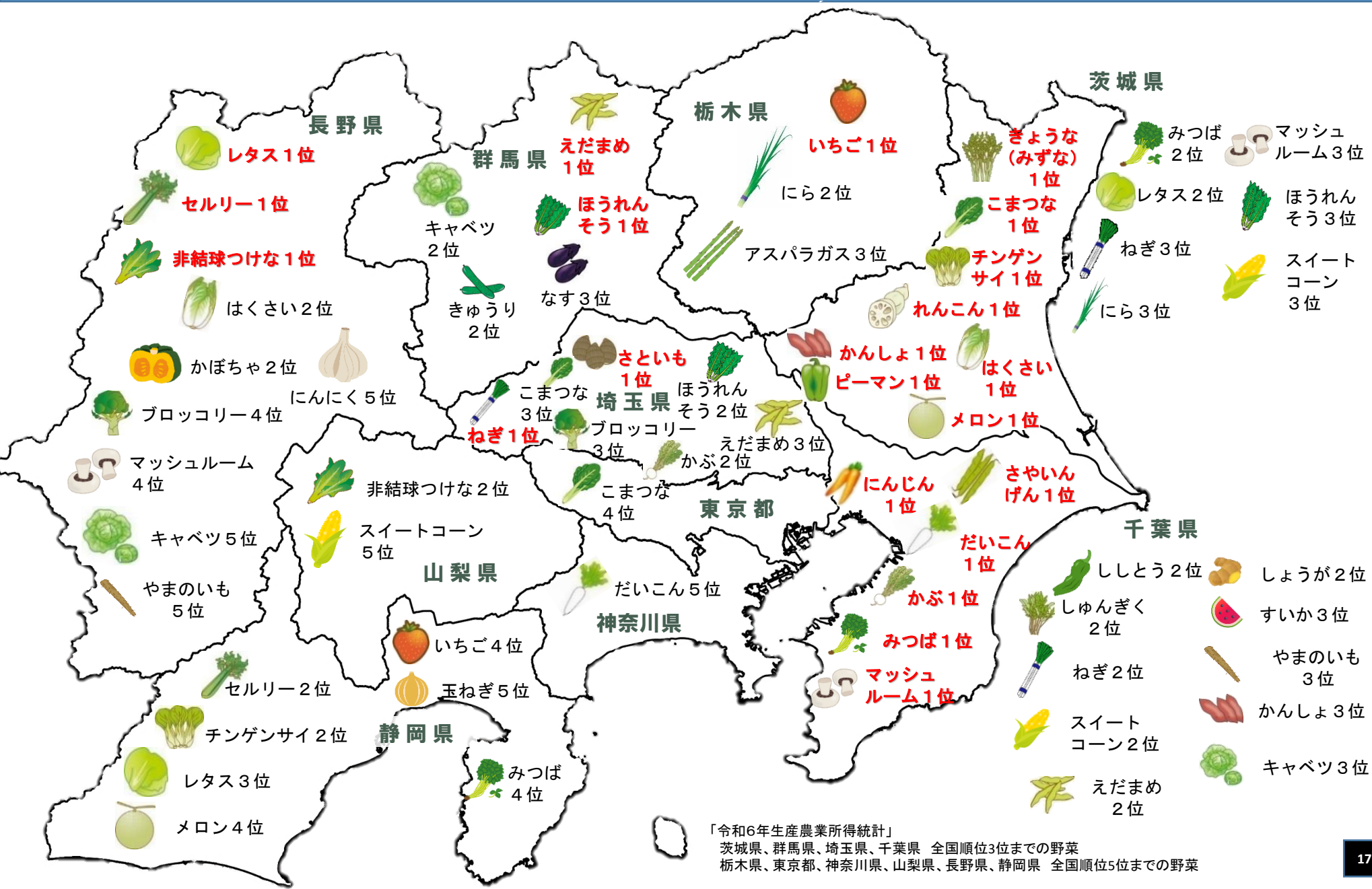
目標: 7.0t/10a (高糖度トマト)

3.0t/10a (高糖度ミニトマト)

地域エネルギー: 木質バイオマス



(参考) 農業産出額の全国順位が上位の品目(令和6年)



「令和6年生産農業所得統計」
茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県 全国順位3位までの野菜
栃木県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県 全国順位5位までの野菜